

第2次十日町市食育推進計画の取組状況

※対象年代は、次の区分。A乳幼児期(0～6歳)、B少年期(小・中学生)、C青年期(16～24歳)、D壮・中年期(25～64歳)、E高齢期(65歳以上)、F全世代

第2次食育推進計画記載事項				実施機関	事業名	事業内容	対象年代(※)	H29年度実績	H30年度実績及び見込数	H31年度取組予定及び見込数	備考	
基本方針	重点目標 現状値→目標値	施策	具体的な取り組み									
1 食を通して健康な身体をつくる	朝食を毎日食べる人の割合の増加 89%→92%(H26→H30)	各年代共通	健康づくり事業の充実	各機関	下記へ提示							
		各年代共通	食育指導事業体制の充実	各機関	下記へ提示							
食に関する正しい知識を持ち望ましい食生活を実践し健康づくりに取り組みます。	栄養バランスに気をつける人の割合の増加 77.7%→82%(H26→H30)	妊産婦期	妊産婦の健全な食生活の普及・啓発	行政(市)	ハロー・ハバママ学級において食生活習慣指導を実施する。	健康づくり推進課 ハロー・ハバママ学級	健康な子どもを産み育てるための妊娠時の食生活指導	C・D	100人	1クール年4回 延90人	1クール年4回 延90人	
		乳幼児期	乳幼児の健全な食生活の普及・啓発	行政(市)	乳幼児健診や離乳食教室等で栄養指導・相談を実施する。	健康づくり推進課 健康づくり推進課 健康づくり推進課	こんにちは赤ちゃん訪問 離乳食教室 乳幼児健診	A・C・D C・D C・D	262人 12回 123人 1,586人	285人 12回 130人見込 1,558人	300人 12回 130人見込 1,500人	
		学童期	学童、青少年の健全な食生活の普及・啓発	地域・関係機関	食に関する講演会や食育教室を実施する。	健康づくり推進課	親子料理教室	園児と保護者を対象に調理実習と食育についての講習会を開催	A・C・D	2回 46人	2回 72人	2回 50人
健康づくり推進課	食育教室					学校・地域で小中高校生を対象に調理実習と食育についての講習会を開催	B・C	中学校1回 13人 高校1回 24人	中学校1回 9人 高校1回 26人	中学校1回 15人 高校1回 25人		
子育て支援課	保育園講演会					食育講演会開催により情報提供・知識啓発	C・D・E	261人	109人	150人		
子育て支援課	保育園給食だより					毎月の給食だよりによる食生活の情報提供	C・D・E	全保育園	全保育園	全保育園		
		成人・高齢期	大人の健全な食生活の普及・啓発	地域・関係機関	給食指導計画に基づき食育教育を実施する。	学校教育課	給食指導計画	給食指導計画に基づく食育教育の実践	B	全学校	全学校	全学校
学校教育課	食に関する指導の実践協力共同調理場指定					中央学校給食センターが22年度から3カ年(19年度からの継続)、県から指定を受けて配送校に対する食育を行う体制づくりや指導を実施	B	中央学校給食センター	中央学校給食センター	未定		
学校教育課	食に関する指導					給食時間を活用して栄養士が子どもたちに食に関する指導を実施	B	全学校	全学校	全学校		
学校教育課	給食残食ゼロ運動を実施する。					「給食残食O運動」を実施	B	全学校	全学校	全学校		
		成人・高齢期	大人の健全な食生活の普及・啓発	行政(市)	特定保健指導により生活習慣の改善を支援する。健康づくりに関する教室や講演会を開催する。健康教育(血液さらさら教室、脱メタボ教室等)を実施する。	健康づくり推進課 支所市民課	地区伝達講習会	ヘルスメイトにより、各地域において調理実習を通してバランスのとれた食生活を実践するための講習会を開催	F	53回 599人	54回 526人	50回 500人
健康づくり推進課 支所市民課	住民健診食推コーナー					住民健診会場で食生活改善推進員によりバランスのとれた食事の大切さをPR	C・D・E	3,250人	4,058人	4,000人		
健康づくり推進課 支所市民課	特定保健指導					特定健康診査の結果特定保健指導対象者(メタボリックシンドローム該当者・予備群)に、生活習慣の改善を支援	D・E	233人	170人	200人		
健康づくり推進課 支所市民課	生活習慣病予防教室					高血圧・糖尿病による動脈硬化についての知識啓発及び食事と運動指導の実施	D・E	4回 62人	4回 47人	4回 80人		
松代支所市民課	脱メタボ学習会					メタボリックシンドロームについての知識啓発およびその予防のための食事や運動指導の実施	D・E	8回	8回	8回		
松代支所市民課	冬期集落講座					生活習慣病予防についての知識啓発及びその予防のための食事や運動指導の実施	D・E	317人	280人	280人		
中里支所市民課	糖尿病予防教室					糖尿病予防・改善についての知識啓発及び食事や運動指導の実施	D・E	延27人	延30人	延35人		
中里支所市民課	糖尿病予防教室					糖尿病予防・改善についての知識啓発及び食事や運動指導の実施	D・E	2回 13人	2回 11人	2回 15人		
中里支所市民課	健診結果相談会					夏の健康相談会	D・E	2回 24人	2回 14人	2回 20人		
松之山支所市民課	冬季講座					生活習慣病予防などの講話と健康相談	D・E	29回 186人	20回 120人	15回 90人		
松之山支所市民課	糖尿病予防教室	糖尿病予防・改善についての知識啓発及び食事や運動指導の実施	D・E	—	3回 18人	3回 18人						
松之山支所市民課	生活習慣病予防教室	生活習慣病予防についての知識啓発及びその予防のための食事や運動指導の実施	D・E	3回 19人	—	—						
川西支所市民課	健診結果相談会	健診結果をもとに生活習慣病予防のための健康指導	D・E	2回 14人	2回 15人	2回 16人						
医療介護課	介護予防普及啓発事業(栄養)	バランスのとれた食事や低栄養の予防についての知識の普及	E	33回 425人	30回 300人	30回 300人						

第2次十日町市食育推進計画の取組状況

※対象年代は、次の区分。A乳幼児期(0～6歳)、B少年期(小・中学生)、C青年期(16～24歳)、D壮・中年期(25～64歳)、E高齢期(65歳以上)、F全世代

第2次食育推進計画記載事項				実施機関	事業名	事業内容	対象年代 (※)	H29年度実績	H30年度実績及び見込数	H31年度取組予定及び見込数	備考		
基本方針	重点目標 現状値→目標値	施策	具体的な取り組み										
2 食を通じて豊かな心を育む 食への感謝の気持ちや食生活習慣の改善を実践し、豊かな心を育てます。	共食の回数の増加 10.7回→11.7回(H26→H30) 食事のあいさつを習慣としている人の割合の増加 68.4%→85%(H26→H30)	乳幼児・学童期	・子どもの成長過程に合わせた食生活習慣の普及・啓発 ・食に関する体験的活動の充実 ・食に関する感謝の心の育成	行政(市)	健康づくり推進課	乳幼児健診	健診時における栄養指導	C・D	1,586人	1558人	1500人		
					子育て支援課	子育て支援センターにて個別の栄養相談・栄養指導	子育て支援センターにて個別の栄養相談および講話による望ましい食生活の知識啓発	C・D・E	212人	190人	200人		
					子育て支援課	保育園体格調査をもとに個別支援	保育園体格調査(1,000人)から生活習慣の改善の必要な園児の保護者に個別面接による生活習慣の改善支援	A・C・D・E	4人	5人	5人		
				地域・関係機関	健康づくり推進課	親子料理教室を開催する。	親子料理教室	園児と保護者を対象に調理実習と食育についての講習会を開催	A・C・D	2回 46人	2回 72人	2回 50人	
					子育て支援課	食事のマナーやあいさつ等、食生活に関する講習会や試食会を開催する。	保育園講演会・給食試食会	保育園の試食会及び講演会で食事のマナーやあいさつ等、食生活に関する知識啓発	A・C・D・E	全保育園	全保育園	全保育園	
					学校教育課	小・中学校において家族で楽しむ料理の日を設定する。	学校給食試食会	学校給食試食会	C・D・E	全小学校・中学校5校	小学校:17校中学校:5校	小学校:全校中学校:5校	
					子育て支援課	学校や保育園で一緒に食べる楽しさや大切さ、食への感謝の気持ちについて普及・啓発に努める。	保育園給食食育指導	給食時間や給食だよりを活用して普及・啓発	A・C・D・E	全保育園	全保育園	全保育園	
					学校教育課		学校給食食育指導	給食時間や給食だよりを活用して普及・啓発	F	全学校	全学校	全学校	
					学校教育課		「家族で楽しむ料理の日」	取組調理例に郷土料理を加え、家庭へ啓発	F	実施件数 小学校 341件 中学校 15件	実施件数 小学校 276件 中学校 13件	実施件数 小学校 300件 中学校 15件	
					栄養士会		キッズ健康教室	小学生を対象に調理実習と食事バランスについての講話等を実施	B	24人 2回	—	—	
					JA		料理教室	ベジキッチンを使用した各種料理教室の開催 地元旬の食材を利用した料理教室の開催	F	56教室 延べ809人	56教室 延べ1,080人	50教室 延べ900人	
					子育て支援課		保育園給食だより	毎月の給食だよりによる食生活の情報提供	C・D・E	全保育園	全保育園	全保育園	
					健康づくり推進課		市報やホームページにより、食育の日や食育月間の普及・啓発に努める。	市報掲載、ホームページ掲載	F	実施	実施	実施予定	
					成人・高齢期	大人の食生活習慣改善の普及・啓発							
3 地域の食文化を理解し継承する 家庭料理や郷土料理の大切さを理解し伝承するための取り組みをします。	家庭で料理を作る人の割合の増加 →50%(H30) 伝統・郷土料理を食べる人の割合の増加 →70%(H30)	地域・関係機関	地域の食育専門家(栄養士・ヘルスマイト・農村地域生活アドバイザー等)と連携することにより郷土料理の普及・促進を図る。	川西支所市民課	ヘルスマイトによる郷土料理の普及	上野小学校郷土料理クラブで郷土料理の実習を行う	B	13人	10人	10人			
				子育て支援課	保育園の畑で野菜作り	保育園で作った野菜などの活用や、家に持ち帰って料理をしてもらう	A・C・D・E	全保育園	全保育園	全保育園			
				学校教育課	農業体験	各学校で実施	B	小学校:全校	小学校:全校 中学校:6校	小学校:全校 中学校:6校			
				JA	どろんこキッズスクール	地域の小学校5・6年生を対象とした農業体験と調理体験 生産現場の様子や生産者との交流を開催	B	年間31人 全9回	年間34人 全9回	年間30人 全9回			
				JA	料理教室	地域の食文化を学ぶ小学生への料理教室の実施	B	3教室 延べ67人	8教室 延べ118人	5教室 延べ100人			
				学校教育課	十日町市学校給食地産地消推進計画	「十日町市学校給食地産地消推進計画」を策定し、学校給食地元産物の利用を推進		推進委員会1回	推進委員会1回	推進委員会1回			
				学校教育課	学校給食等で地場農産物の利用推進に努める。	米飯給食	米飯を中心とし、バランスのとれた給食の提供	B	週4.5日	週4.5日	週4.5日		
				学校教育課		「とおかまちメニューの日」	学校給食において「とおかまちメニューの日」を設定し、地産地消の取組を啓発	F	全学校	全学校	全学校		
				JA	食農推進委員会事業				1回開催	実施予定	実施予定		
				JA	JAをはじめとする食育関連団体と連携して食文化の普及や継承に努める。	料理教室	地域の食文化を学ぶ小学生への料理教室の実施	B	3教室 延べ67人	8教室 延べ118人	5教室 延べ100人		
JA		きッチンセミナー	地域内料理人を講師とした「食」と「農」をつなぐセミナーの実施	B・C・D・E	4回 延べ69人	3回 延べ55人	20人/日×3回						

第2次十日町市食育推進計画の取組状況

※対象年代は、次の区分。A乳幼児期(0～6歳)、B少年期(小・中学生)、C青年期(16～24歳)、D壮・中年期(25～64歳)、E高齢期(65歳以上)、F全世代

第2次食育推進計画記載事項				実施機関	事業名	事業内容	対象年代 (※)	H29年度実績	H30年度実績及び見込数	H31年度取組予定及び見込数	備考
基本方針	重点目標 現状値→目標値	施策	具体的な取り組み								
4 地産地消を促進し資源を循環する 地場農産物の利用を促進し、食の安全・安心への取り組みをします。	農産物直売所の利用者の割合の増加 45%→80%(H26→H30) 学校給食における地場農産物利用率の増加(野菜・きのこ類) 32.3%→50%(H26→H30)	各年代共通 ・家庭でできる地産地消の普及・啓発 ・地域や関連団体を取り組む地産地消の推進 ・環境に配慮した食生活の推進	農産物直売所や地産地消関連イベント等の情報提供に努める。	農林課	市ホームページ掲載	HPを活用して普及啓発	F	市HP掲載	市HP掲載	市HP掲載	
			地場農産物(野菜・きのこ)の学校給食への供給の促進を図る。	農林課	給食に地場農産物を供給	通常の米粉パンと地元産コシヒカリ100%の米粉パンとの差額を支援。 学校給食用野菜の生産者に対して、種苗代・肥料代を補助。(対象品目は、じゃがいも・キャベツ・たまねぎ)		地元産コシヒカリ100%米粉パン 差額支援 学校給食地産地消推進事業 6件、354千円	地元産コシヒカリ100%米粉パン 差額支援 学校給食地産地消推進事業 4件、374千円	学校給食地産地消推進事業の実施	H31年度以降は、学校給食費の中で通常の米粉パンが使用される。
			学校給食における「とおかまちメニューの日」を設定し、地産地消の取り組みを推進する。	学校教育課	「とおかまちメニューの日」	地元食材の使用と、郷土料理の提供		全学校	全学校	全学校	
			給食残食ゼロの取り組みを促進する。	学校教育課	給食残食O運動	「給食残食O運動」を実施		全学校	小学校:13校中学校:8校	全学校	
			給食における地場農産物の米や食材の供給を促進する。	学校教育課	給食での地場農産物の使用	地産地消率50%(野菜・きのこ重量ベース)を目指す		35.0%	0.37	0.38	
			地域・関係機関 生産者やJAなどの関連団体による地産地消を促進する。	十日町地域振興局	「地そばまつり」の開催	十日町地域地産地消マップの配布	F	14,500人	15,500人	16,500人	
				十日町地域振興局	「越後妻有そばマップ」「十日町・津南の直売所マップ」	そば及び農畜産物の地産地消の促進のためパンフレットを配布	F	有	有	有	振興局HPに掲載・そばマップのみ配布
				JA	料理教室	地域食材を活用した料理コンクール	B・C	実施予定なし	実施予定なし	実施予定なし	
JA	四季彩館の営業	四季彩館「ベジばーく」での普及・啓発、地元産農産物の消費拡大		F	151,510人	160,000人	160,000人				
JA	ベジばーく内直売所の営業	ベジばーく内直売所「みちく彩」での普及・啓発、直売所での地元産農畜産物の消費拡大	F	惣菜販売実施(週5日)	惣菜販売実施(週5日) 16,150千円	惣菜販売販路拡大					
5 食についての情報を発信し交流を深める 情報発信により、食への理解や関心を深め地域の交流につながるような取り組みをします。	食育への関心度の割合の増加 71%→90%(H26→H30) ヘルスマイトの人数の増加 148人→200人(H26→H30)	各年代共通 ・地域の食文化の情報提供と啓発 ・食育推進市民運動の展開 ・関係団体との連携や協働 ・食育関連の人材育成	食と健康づくりに関した情報提供に努める。	生涯学習課	はぐくみのまちづくり運動	「早寝、早起き、朝ご飯」をキャッチフレーズに、学校、家庭、地域、関係団体、公民館等が連携しながら基本的な生活習慣づくりの意識啓発を行う運動の取組み。(そのうち、主に食育の推進に関する事業。)	F	47事業 165回 2,337人	49事業 160回 2,122人	38事業 138回 1,877人	
			食育専門家(栄養士・ヘルスマイト・農村地域生活アドバイザー等)による研修会・講習会を開催する。	健康づくり推進課	地区伝達講習会	ヘルスマイトにより、各地域において調理実習を通じバランスのとれた食生活を実践するための講習会を開催	F	53回 599人	54回 526人	50回 500人	
			食育関連の人材(ヘルスマイト等)の育成に努める。	健康づくり推進課	ヘルスマイト研修会	ヘルスマイトに研修会を実施	D・E	全体2回 142人	全体2回 151人	全体2回	
				健康づくり推進課	ヘルスマイトセミナー	新規にヘルスマイトを養成	D・E	新規7名	実施なし	セミナー開催予定	
				十日町地域振興局	ヘルスマイト育成	県食生活改善推進協議会十日町支部の育成	D・E	研修会実施(2回)	研修会実施(2回)	研修会実施(2回)	
				十日町地域振興局	食育ボランティア	食育ボランティアの登録	F	1団体 (かたくりの会・構成員11人)	1団体・1人	1団体・2人	
				十日町地域振興局	エコファーマーの認定	エコファーマーの認定	F	11人	2人	10人	
				十日町地域振興局	「なりわいの匠」認定制度	にいがた「なりわいの匠」認定制度	F	-	-	5人	
				JA	食育サポーターの育成	地域の食文化・米粉料理の普及等、ベジっちんの教室の講師として育成	C・D・E	登録4人 教室回数56回/年	登録4人 教室回数56回/年	登録4人 教室回数50回/年	
			地域・関係機関 食育推進月間と食育の日を積極的にPRし、食育への関心を深めるように取り組む。	健康づくり推進課	市報掲載、のぼり旗設置	食育について市報掲載 住民健診会場での食育の日PR	F	実施	実施なし	実施予定	
				十日町地域振興局	食育推進県民運動	食育の日PRキャンペーン 健康づくり支援店利用者アンケート調査 食育ノボリ旗の掲出	F	支援店にてPR活動 210人	支援店にてPR活動 135人	未定	
				十日町地域糖尿病予防ワークショップ実行委員会	十日町地域糖尿病予防ワークショップ	糖尿病予防に関する啓発普及、レシピの配布 世界糖尿病デーの啓発のぼり	D・E	2回 延べ873人	2回 延べ1,358人	2回予定	ワークショップ各コーナー別に参加者数を把握し、延べ人数で計上(H29)
			健康な食生活のためのメニューや生活習慣病予防のレシピ等の情報提供に努める。	十日町地域振興局	健康づくり支援店普及事業	健康に配慮した情報・メニュー・サービス・空間を提供する飲食店等を指定	F	指定数 98店	指定数87店	取組予定	